

これがあるからがんばれる！ 私のオフタイム

OFF TIME

今月の趣味の達人

医療法人壽鶴会東武中央病院

佐藤俊美さん

(40歳・精神科看護師歴14年)

× トランペット演奏 (野球応援)

🍀 始めたきっかけは？

もともと音楽が好きで、中学生のころには吹奏楽部に所属し、毎日熱中してトロンボーンを吹いていました。教員をめざして音楽大学に進み教員免許も取得。残念ながら教員にはなれなかったのですが、学生時代のアルバイトとして始めた野球の応援席での演奏が楽しく、21歳のときに本腰を入れてやろうと正式にプロ野球チームの私設応援団に入りました。野球観戦ももともと

大好きでした。仕事は、整形外科クリニックの受付からキャリアをスタートさせて働きながら看護師免許をとり、14年前から精神科に勤務しています。現在、閉鎖病棟の師長です。

🍀 活動内容・実績は？

公式戦の応援にはできるだけ参加しているのですが、年間80試合ほど応援席でトランペットを吹いています。試合があれば札幌から福岡まで全国に行きます。夜勤明けに飛行機に乗ることもしばしば。昨年は、WBCを応援する“日本代表チーム”の一員に選んでいただき、サンフランシスコまで行きました。職場の上司や仲間の理解がなければこの趣味は続けられない。大変ありがたいです。



🍀 醍醐味は？

野球場でトランペットを吹いて20年。看護師より長いキャリアなので、私にとっては生活の一部です。なんと言っても野球場でもらえるパワーが私の元気の源で、野球場は私にとってパワースポットのようなものです。全国各地で私の顔を覚えてくださっている方もいて、交流を楽しんでいます。

🍀 仕事への影響は？

「人を応援する」という意味で、看護と相通じるものがあると感じています。また、野球場でパワーを吸収できるから、患者さんに元気をあげることができます。

🍀 あなたにとってトランペット演奏とは？

生きがいです。

あなたの自慢の趣味を大募集！

このコーナーにご登場いただける「趣味自慢」の方を募集しています。所属、お名前、年齢、連絡先、趣味の内容をできるだけ具体的にご記入のうえ、nursingstar@m-s-com.com まで投稿をお待ちしています。

上質な暮らしは、上質な眠りから

東洋羽毛マンスリーレター



アール・ブリュット作品の柄を染めた 世界で初めての羽毛ふとんを制作中！

アール・ブリュットの支援活動の一環として始まった、東洋羽毛の「アール・ブリュット×羽毛ふとん」プロジェクト。昨年の全国大会で展示して話題になったアール・ブリュット作品『国盗り絵巻』(作者：松本寛庸さん)をプリントした羽毛布団を制作するという初めての試みが着々と進んでいます。去る4月上旬に、和歌山県の和歌山染工にて、作者・松本さんのご家族が立ち会いのもと、生地への染めと色確認が行われました。このプロジェクトの進展については、随時、このコーナーでご報告していきます。



生地に作品の絵柄を染める作業の様子